

21・老福連 第21回職員研究交流集会in福島

フィールドワーク
オンライン

開催要綱



ここで生きていく
～いのちと暮らしを支える福祉の力～

主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会
京都市北区大北山長谷町5-36 TEL：075-465-5300/FAX：075-465-5301
後援：福島県・公益社団法人認知症の人と家族の会福島県支部
福島市在宅医療・介護連携支援センター、福島市介護支援専門員連絡協議会
お問合せ先：特別養護老人ホーム 原谷こぶしの里
京都市北区大北山長谷町5-36
TEL:075-463-4888 / FAX: 075-464-8415

ろ
う
ふ
く
め
ぐ
る
7
月
号

6月の総会にて、承認いただき
ました「第21回職員研究交流集会
in福島」の開催要綱は皆様のお
手元に届きましたでしょうか。研
究交流集会の実行委員の仕事で
一つの壁になるのは「開催要綱の完
成」です。研究交流集会の企画内
容はこの時点でほぼ確定させなけ
ればならず、1月頃から始動した
実行委員会は総会までの5、6回
の実行委員会（月1回）で依頼
や調整などの仕事を日常業務に追
加してせねばなりません。
ホッと一息つくの間もつかの間で
す。次の段階は、細部にわたる調
整や現地見などをします。多く
の参加があること・参加して良
かったと思ってもらえることを考
えて実行委員会は奮闘しています。
次ページにある参加申込みまで
の流れをご確認の上、お申込くださ

参加申込のながれ

①老福連のホームページを開く



②赤枠のバナーをクリック

バナーを拡大すると…
このような感じです。



③福島集会の資料が掲載されているところにジャンプ

● 交流誌・集会資料等

総会・施設長会議	職員研究交流集会	ブロックの取組	会員施設から
----------	----------	---------	--------

NEW!

◆ 第21回職員研究交流集会 (福島県 いわき市) ◆ 2023.12/1～3

- 研究交流集会の開催要綱
 - ・ <要綱> 第21回職員研究交流集会 開催要綱 (PDF)
 - ・ <参加申込書> (EXCEL)
- 分科会(分散会) 演題エントリーはこちら!
 - ・ <分科会(分散会) 演題エントリーシート> (EXCEL)
 - ・ <演題抄録用紙> (WORD)

- * 開催要綱(PDF)
- * 参加申込書は、Excelです。
- * 演題エントリーシートは、Excel
- * 演題抄録用紙はWordです。

必要な事項を記入してメール添付で送信してください

必ず、開催要綱を読んでお申込みください(送信先のメールアドレス・お問い合わせ先・締め切りも記載されています)

◎平成27年4月1日、特養入所対象者は、それまでの「要介護1以上」から「原則要介護3以上」に変わりました。「より入所の必要なひとが入所できるようにするために」という理由で、要介護1・2の人は特例要件に該当することを以て初めて入所申込が可能となる仕組み（特列入所）になりました。入所申込者の中から実際に入所する人を選考する際には、公平性と透明性の検討の中で特養に裁量権があり、それは特列入所においても同様です。要介護1・2の人がそれまでに特養に入所されているという実態も少なかつたことから、この時の政策としては影響は殆どないという見解が国にあったと記憶しています。

◎その傍らで、特養経営の柱とも言える「日常生活継続支援加算」の算定要件は、新規入所者の重度化を促進するものに改定され、特養の入所者は重度介護を要する状態に変貌するように政策誘導されました。

◎いっぽう、平成27年の入所対象者見直し以後の全国老人ホーム施設長アンケートでは、要介護1・2の人の特養入所を受け付けていないという回答を何度も見ることになります。保険者が特列入所を受け付けないという方針だという自由記述も散見されました。また、入所申込の少なさから特列入所を受け付けなければならぬという実態のある地域事情も判明しました。

◎その中で、令和5年4月7日に、地域事情を鑑みて特列入所を柔軟的に運用することや、特列入所申込を受け付けられないということは認めないことを厚労省は通知しました。

特養入所原則要介護3以上の問題を考える。



2023年8月23日(水) 13時～15時

ZOOMにて開催

参加対象：施設長・生活相談員など

- 「特養の入所要件を要介護1以上に戻すこと」を老福連は主張の一つにしています。昨年度の全国老人ホーム施設長アンケートでは、約53%は「賛同する」「おおむね賛同する」という回答でした。
- 今、日常生活継続支援加算の要件により、特養は要介護4以上もしくは認知症自覚度Ⅲ以上の方が入所する高齢者施設になろうと政策誘導されています。その一方で、地域によっては入所待機者が少ないという理由で特列入所枠で入所されることもあります。特列入所を認めない方針の保険者もあるなど、地域事情やローカルのルールにより様々な実態があります。
- 4月7日付で、特養入所要件の柔軟的運用を示す通知が出ましたが、その中身とはいったいにか…、特養とはいったいどうあるべきなのか…、学び合いと意見交換の場を設けたいと考えました。

申込方法について

- ①2枚目の用紙に必要事項を記入
 - ②メールに添付して申込完了(kobushi@npo.or.jp)
- 問い合わせ先 介山篤（特別養護老人ホーム原谷こぶしの）

案内チラシ
7/21メール済

学習会 開催案内

- 老福連は全国に加盟施設があります。様々な地域事情を知る機会や入居者の状態像、入所申込事情、加算(経営)に左右されながら新規入居者の選考に苦勞する悩みなどの意見交換の機会が必要！
- そもそも、特養の役割とはいったいなんだろうか、老人福祉法上の老人ホームの理解、老人福祉とはどういうものなのかを考える機会が必要！

ブロック活動のご紹介①

関西ブロック

サマーフェスタ復活か!?

今働いている職員がどんな悩みを抱き、役責層はどんな職員を育てたいのか、そこにどんな悩みを持っているのか、言葉にし、そしてヒントを共有できる場をめざして!

21・老福連 関西ブロック会員施設の皆様へ

21・老福連

～関西ブロック on-line 交流会の呼びかけ～

日時 9月4日(月) 10時～12時

参加費
無料

Zoomでの気楽な意見交換の場となります。
主に「人材」に関する課題について情報交流しましょう。

参加対象

- ① チームマネジメントの対応をされている主任さん、副主任さん、リーダーさん
- ② これまでサマーフェスタの実行委員を経験された実行委員 OBさん
- ③ 管理職さん

2009年関西で第1回目のサマーフェスタ(研修)を開催以降、ブロックのとしてこの研修に継続して取り組んできました。関西の乗りと勢いを軸に、揺るぎない福祉のスピリッツを確認し合うこの研修は、膝を突き合わせる交流の場としておりましたので、コロナ禍においての開催は難しい状況でした。今後、対面での研修を企画していきたいところですが、感染分類が変更された現在においても同じように感染の対策や対応に迫られている現状があります。そのような中ではありますが、これからの関西ブロックの取り組みの一步を着実に踏み出すためにまずは、意見交換を兼ねて交流できたらと存じますので是非お力添えをお願いします。

以下にご記入いただき、FAXにてお申込みください

施設・事業所名

参加者氏名

職種・役職

メールアドレス(ZOOMのURL等の送付先)

※複数名ご参加いただく場合は、用紙をコピーしてご対応ください

FAX 075-466-5733 介護老人保健施設ライプリアきぬかけ 藤田宛

申込を受け付け後、zoomのURL等を送ります



■2008年、「第8回職員研究交流集会in大阪」に集合した集会実行委員の若手職員は、翌2009年に「サマーフェスタINびわこ」を開催しました。このとき、滋賀県の琵琶湖畔に全国から100名を超える若い職員が集結し、一泊二日の時間を「学び」と「交流」に費やしました。以降、途中開催できなかつた年もありましたが、2019年の第9回まで開催が続きました。

■当初、全国の加盟施設を対象に開催したサマーフェスタは、年の経過とともに地域ブロックごとの開催に形を変え、東北・北海道ブロックでは「七魂祭」、関東ブロックでは「オクタムフェスタ」「中堅職員研修」、中国ブロックでは「実践発表交流会」など、各地域ブロックで幅広く活動が展開されているところです。

■今年度総会で確認した通り、各地域でのブロック活動を可能な範囲で再開していくことが求められていると思います。

■第1回～第3回まで連続してサマーフェスタの実行委員として活動した主軸の一人である、佐々木政布さん(社会福祉法人こぼと会、グループホームたんぼぼ ホーム長、老福連本部事務局)は、サマーフェスタの魅力を決のように語っています。

サマーフェスタ発足の主軸の一人! 当時は介護職でした。いまは、ホーム長です

佐々木政布さん

(大阪・社会福祉法人こぼと会
グループホームたんぼぼ・ホーム長)

サマーフェスタの参加で得ることができるのは、「自分の仕事に“誇り”が持てること」、そして「“仲間”との繋がり」です。次の日から仕事に対する気持ちが劇的に変化する研修がサマーフェスタです。日々の仕事の中では学ぶことができない私たちの仕事の土台を学んでみませんか? 同じ仕事をしている全国の“仲間”との繋がり、私たちの仕事とは何かを一緒に考えてみましょう!



ブロック活動のご紹介②

中国ブロック の活動紹介

第22回岡山中央福祉会経験交流発表会

今年6月30日、4年ぶりとなる中国ブロック会議を島根(現地)で開催済。

年度	施設数	参加者	備考
2017年度	6	7	
2018年度	2	4	
2019年度	4	9	
2020年度			コロナの為中止
2021年度	3	12	
2022年度	2	4	

中国ブロック施設参加状況一覧表
※ 岡山中央福祉会を除く

第22回岡山中央福祉会経験交流発表会

- ①開催時期 2023年11月開催予定
②開催方法 ハイブリッド方式で検討中



2018年



2019年



2021年



2022年

井上伸二さん(施設長・岡山中央福祉会・中野けんせいえん・老福連中国ブロック幹事)より、活動の意気込みを聞きました🌀

「法人事業所間の経験交流だけではなく、老福連中国ブロックからの報告や意見交流を通し、学びの裾野を広げ、実践や思いを共有しています。今年度以降はコロナの情勢もありますが、できるだけ会場での開催を進め、「雑談」も含め交流の機会を増やしていきたいと考えています」

交流会のお知らせ①

老健の交流会を開催します

担当：藤田隼平さん

(京都・社会福祉法人七野会 介護老人保健施設ライブリィきぬかけ)

老福連の正会員施設の多くは、特養・軽費老人ホーム・養護老人ホームになりますが、中にはデイサービスやグループホーム、小規模多機能型居宅介護、在宅複合型、そして介護老人保健施設もあります。介護老人保健施設の正会員は1施設ですが、正会員の法人には介護老人保健施設を運営しているところもいくつかあります。

本部事務局のある京都、社会福祉法人七野会にも介護老人保健施設があり、本部事務局の藤田隼平さんはその介護老人保健施設の事務長です。介護保険20年を越え、介護老人保健施設の役割は医療と福祉の狭間で大きく揺れ動こうとしています。2022年度には、「岡山中央福祉会」「ひまわり福祉会」「七野会」にあるいずれも老福連の正会員ではない介護老人保健施設がオンライン上で参集し、情報交換をしました。

今年度、その規模を拡大し情報交換できる場として交流会を開催予定です。つきましては、その交流会に先立ちまして、アンケートを配布します。正会員を通して、同法人内の介護老人保健施設にアンケートを渡していただけますようにご協力をお願い申し上げます。

21・老福連 『老健』交流会開催についてのアンケート

21・老福連事務局 藤田

21・老福連では、前年度11月に老健交流会をオンライン開催し、岡山・島根・京都の3施設で情報交流の機会をもつことが出来ました。この取り組みを継続、発展させることにより、迫る同時改定における医療連携の課題を整理する必要があると考えています。まずは、前年度に続き気軽に情報交流会が開催できればと、僭越ながら京都ライブリィきぬかけ（七野会）藤田より呼びかけさせていただきます。以下のアンケートにお答えいただきFAXにてご返信いただけますと幸いです。お電話やメールでお気軽にご連絡いただく形でも結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

担当者のお名前： _____ (役職： _____)

に✓でお答えください

① 21・老福連（21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会）は、ご存じですか。

知っている 知らない

② オンライン交流会へのご参加について

是非参加したい 内容により参加を検討する 参加は難しい

※「参加は難しい」を選択された場合は以下のご質問への回答は不要です。お気づきの点がございましたら⑥へお願いします。

③ 交流会の内容について期待すること

施設紹介と質疑・応答 テーマを決めて情報交換
自由な意見交換 学習会

④ 参加したい職種

事務長等のみ 事務長等＋支援相談員
事務長等＋介護職 事務長等＋その他の職種（ _____ ）

⑤ 次施設がテーマに沿って発表する場合、どんなテーマがイメージできますか？

報酬要件 医療的課題 体制確保
地域貢献 その他（ _____ ）

⑥ その他ご意見

ご協力ありがとうございます。【ご返信先】

FAX 075-466-5733

介護老人保健施設ライブリィきぬかけ（藤田）電話075-466-5066 メール fujitia@nananokai.com

老福連の正会員で介護老人保健施設は1施設のみですが、その他の正会員の同法人が運営する介護老人保健施設は約10施設あるようです。

同種別の事業で意見交流できる機会はそれぞれの地域の組織や団体にあるかもしれません。

加盟する組織や団体により、方向性が異なることを感じることや、愚痴を言える雰囲気ではないことなどもあるかもしれません。また、地域の組織や団体では、全国の他の地域の状況が見えないこともあります。

老福連の「繋がり」はこれを解消できる好機とも言えます。

交流会のお知らせ②

養護老人ホーム

交流会の予定

担当: 山中宏和さん

(大阪・社会福祉法人大阪福祉事業財団・城東養護老人ホーム・施設長)


問題意識

■養護老人ホームは施設を管轄する自治体の姿勢により、その運営が大きく左右されます。そのため、全国の養護老人ホームの全体像を掴むことが大変難しいと感じています。大阪府や大阪市など、地元の養護老人ホームの状況を聞く機会がありますが、全国の状況を聞くことができる機会はそれほどありません。この交流会の機会は大変貴重なものとして、そしてより身近なものとして拡げていきたいです。

交流会の内容

■全国の各養護老人ホームへの自治体の姿勢、施設運営の課題、利用者支援の悩み、契約入所の現状など、幅広いテーマで意見交流。

今後の予定

- 8月のお盆明けから8月末の予定で、事前打ち合わせ
 - ・交流会の定期開催を前提に、各施設が抱える課題を持ち寄り、交流会の内容や開催時期などを擦り合わせる。
- 事前打ち合わせにより、交流会を定期開催する 

(山中宏和)

- ・軽費老人ホーム・養護老人ホームは、その許認可や財源が地方自治体に権限移譲されています。
- ・この頃より、全国の施設数は増えなくなりました。
- ・そして、措置控えの実態が色濃くなり、養護老人ホームにおいては「契約入所」という入所形態も出現しました。
- ・また、介護保険法でいう、「処遇改善加算」については、老人福祉法を根拠法にする養護老人ホームや経費老人ホームについては加算対象ではないため、各地方自治体の財源に基づき「職員の処遇改善」をすることになりましたが、各地方自治体の財源には差があることや、改善に向けた動きだしに差があることなどが露見しました。
- ・養護老人ホームに求められる役割とはいったいなにか、老福連として向き合う機会にしたいです。



(写真提供) 特別養護老人ホーム原谷こぶしの里(京都)

今年も梅干しをつくりました。入居者に手伝っていただきながら。勤務する理学療法士は言います。

「お年寄りから教えてもらおうや。家によっては味が違ったりするけど、それも勉強になる」

ちよつこ報告

最近、当施設の入居者に某会社のハンバーガーや、デリバリーのピザを食べてもらうという企画がありました。職員の発案企画であったり、入居者の希望であったりしますが、こういうのもありだなくと感じます。

そして、入居者が高校野球の地区予選(準決勝)の試合を観戦するという企画も！車椅子の入居者だけ、車の停車位置や、観戦席、熱中症対策、車椅子用トイレの場所：あくコロナ流行前はこうやって入居者の生活支援をしたなくと感慨深い思いです。

記 介山

マイナ保険証について 学習会開催予定

マイナンバーカードの作成は「任意」であったはずが、政府は当初、令和6年の秋にはマイナンバーカードに医療情報を紐づけるマイナ保険証に切り替えるという方針を出しました。このことに対して、いち早くに全国保険医団体連合会(保団連)がアンケートを取り、政府に対する交渉や記者発表などを実施しました。

この半年間で、保団連の活動に加えて、紐づきのミスや登録のミスなどが明るみになりました。これらは、各種マスメディアにより報道され、マイナンバーカードを返納する人も出ているほどです。

まだまだ、ピンと来ないひとも多いかもしれませんが、老福連としても学習の機会が必要と考え、保団連に講師依頼をはじめ学習会の日程調整中です。

ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。